

ペーパークラフト 金銅製冠（かんむり）の作りかた

1. わくの線にそって、切りとる。



2. ①と②を山おりし、中に輪ゴムをとめて、はり付ける。



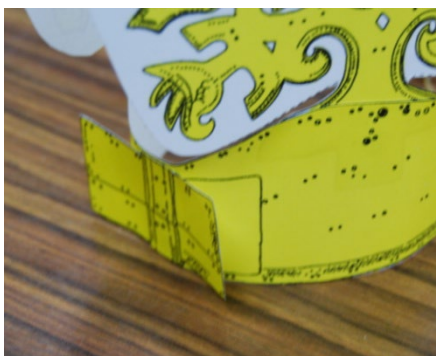
3. ③と⑤のうらがわに、ストローやわりばしをテープでとめる。



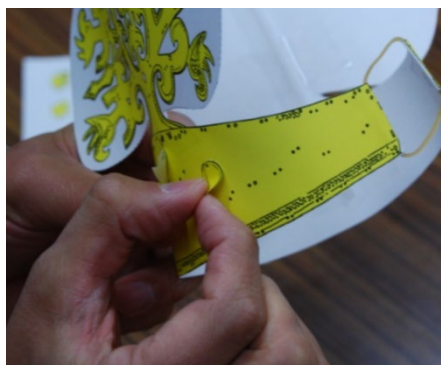
4. ③を④のところに、⑤を⑥のところにはり付けて、うらがわをテープでとめる。



5. ⑦を⑧のところに、はり付ける。



6. ⑨のかざりを好きなところにはり付ける。



（かざりは全部のり付けしないで、おりまげて、半分だけのを付けてはると、雰囲気ができます。）

7. 完成！！

工作がとくいな人は、かんむりのかざりをカッターナイフなどで切りぬいてみよう。

ペーパークラフト 金銅製履（くつ）の作りかた

1. わくの線にそって、切りとる。



2. のりしろを、ぜんぶ山おりする



3. ①と②のところで山おりし、
③を④のところに貼り付ける。



4. ⑤のくつぞこをはり付ける。
(いちどに全部はるのはむずかしいので、
つま先のところから順に、はり付けよう。)



5. ⑥のかざり（歩揺）を好きなところにはり付ける。

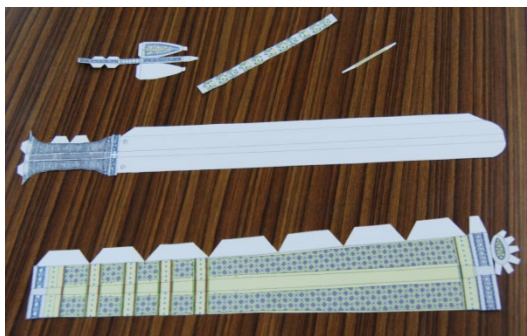


(⑥のかざりくつのそこにも、はり付けてください。)
(かざりは、ぜんぶのり付けしないで、おりまげて半分
だけのりを付けてはると、雰囲気ができます。)

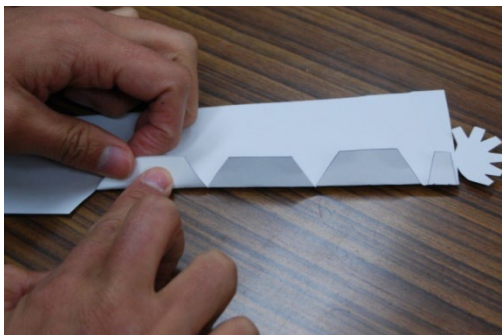
6. 完成！！

ペーパークラフト 飾り太刀（かざりたち）の作りかた

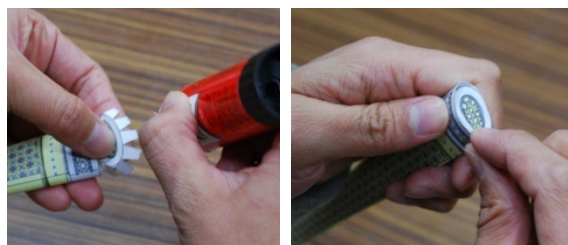
1. わくの線にそって、切りとる。



2. 「刀のさや」の、のりしろを山おりし、はり合わせる。(さやは、おらないで、丸める。)



3. 「刀のさや」の、そこをはり付ける。



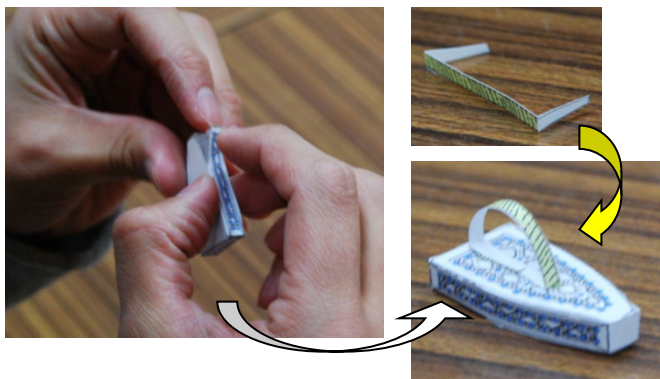
4. 「刀」は、それぞれ山おりし、断面が三角形になるようにはり合わせる。



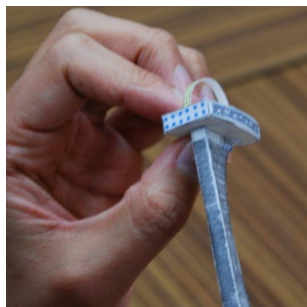
5. 「刀」の、「つか」のところの、のりしろは谷おりする。



6. 「つかがしら」をくみたてて、「ねじりかんとう」を写真のように、はり付ける。



7. 「つかがしら」を、「刀」の「つか」のところにはり付ける。



8. 「みわだま」を写真のようにはり付けたら、完成！！



ふじ き こふん しゅつと いぶつ 藤ノ木古墳の出土遺物について

藤ノ木古墳とは

藤ノ木古墳は、斑鳩町の法隆寺のそばにある直径約48m、高さ約9mの円墳で、6世紀後半に築かれたと考えられています。



1985年の発掘調査で、一度もふたが開けられなかった形跡のない朱塗りの石棺や金銅製の馬具などが発見されました。1988年には、石棺のふたが開けられ、2人の男性と考えられる人骨とともに、豪華な刀・冠・履のほか、とてもたくさんのガラス玉や金属製の玉などで作った装身具などが発見されました。



金銅製冠（こんどうせいかんむり）

おび帯の上に2つの立ち飾りがつく

冠です。立ち飾りには波のようなもようや、鳥の形が表されています。表面には、花びら形や鳥形の歩揺とよばれる飾りが、たくさん付けられていました。

金銅製履（こんどうせいいくつ）

銅板で作られたクツです。表面

には亀の甲羅のもようのような、六角形のもようがつけられ、円形や魚形の歩揺とよばれる飾りが、全体につけられていました。長さは40センチメートルほどもある、とても大きなものです。



飾り大刀（かざりたち）

金・銀・ガラスなどで飾り付けられた豪華な刀

です。つかに三輪玉とよばれる飾りが付けられているのが特ちょうです。長さが、およそ140センチメートルある大きなものです。

